

消防団定期観閲式

機敏な動き

消防団定期観閲式が、6月29日(日)パルナス駐車場で行われました。雨が降るなど団員には作業しづらい日となりました。町内各分団が日頃の成果を観閲者に披露することがこの式のためでもあり、約160人の団員が参加しました。

人員・姿勢・服装点検や車両機械器具点検、分列行進のほか、放水訓練、玉落とし競技で各団が競いました。また、中里幼稚園園児が鼓笛演奏などの幼年防火クラブ演技を披露し、敬礼する子どもたちに来賓たち



分列行進



幼年防火クラブ

も大きな拍手を送っていました。

式典に移り、長年消防団に尽力した団員たちへの表彰や競技の表彰が行われました。各表彰、観閲者講評、団長訓示、来賓祝辞につづき、受賞者を代表して、20年以上団員を務め退職した元第1分団・分団長の工藤信明さんが「受賞に感謝している。今後とも消防人として奉仕していきたい」と謝辞を述べました。

玉落とし競技の結果は、自動車ポンプの部1位は第2分団(派立・宮野沢)、可搬式ポンプの部1位は第8分団(尾別・高根)。服装、車両点検や行進などを競う優良分団は、小泊地区分団が1位となりました。

農地集約に一役

町農地中間管理事業
推進協力員へ委嘱状

中泊町農地中間管理事業推進協力員委嘱状交付式が、6月27日(金)中央公民館で行われました。交付式では、推進協力員28人に小野町長から委嘱状が交付されました。

規模の縮小や離農した農家の農地などを集約して担い手農家に貸し出す事業を行う、県農地中間管理機構青森農林業支援センターから業務委託を受けることに伴い、町が推進協力員を置き、情報提供や連絡調整などを行うものです。



委嘱状交付



協力員のみなさん

委嘱状交付後、町長が「農地の現状を把握しているのは、米生産互助会や認定農業者の会のみなさん。この事業が円滑に実施できるようご協力いただき、農地を有効活用できるようになればと思う」とあいさつ。続いて、来賓の同センター鳴海理事長が「県内初の取り組みであり大変な面もあると思うが、みなさまに広くご理解ご協力をいただきたい」と述べました。交付式後は農地中間管理事業の概要について鳴海理事長が講演を行い、協力員たちは理解を深めていました。

ふるさとに叫ぶ！

ふるさとイメージアップ大使
三上寛さんの凱旋ライブ

駅ナカ「にぎわい空間」実行委員会(会長・夏原謙二)が、6月30日(月)津軽中里駅の駅ナカで、3回目となる「三上寛ふるさとに叫ぶ」を開催しました。会場には約100人の来場者が集まり、ライブを鑑賞しました。

第1部は、弘前市の長谷川一座によるお笑いショーが行われ、イタコのネタなどで会場を沸かせていました。

第2部は、来賓歌の共演として、小野町長と津軽鉄道(株)澤田社長がカラオケを披露しました。

第3部は三上さんのライブ。子どもの頃や恩師の紹介を交えながら、今年も自身のギターにのせて歌い、そして叫びを披露しました。

また、今回は初の試みとして、夏原会長の詩の朗読を三上さんのギターにあわせて行いました。三上さんは「これからも1年に1回は、地元の皆さんとの交流を続けていきたい」と話していました。



ふるさとに叫ぶ！三上さん

ヒロ中田氏が講演会で提案 活イカ姿丼でいきましょー！



ヒロ中田氏

じゃらんリサーチセンターエグゼクティブプロデューサーのヒロ中田氏が、6月27日(金)日本海漁火センターで「新・ご当地グルメ」開発に向けて、講演会を行いました。

講演会には、町内の飲食店経営者を中心に50人が参加しました。講演第一部では、深浦マグロ料理推進協議会事務局長

鈴木マグロー氏が、デビュー1年で2億円の経済効果を生み出した「深浦マグロステーキ丼」の取り組みについて、これまでの経緯などを説明しました。

第2部は「食」が地域を熱くする「新・ご当地グルメ」開発のすすめと題し、ヒロ中田氏が講演しました。

講演では自身が手掛けた「新・ご当地グルメ」のルールや事例の数々を紹介しました。このグルメ料理は中泊でないと食べられない料理で、かつ昼食でないといけないといいます。中田氏は、4月にも当町を訪れ、料理案を温めており、町の水揚げの68%を占めるイカに注目しました。春はヤリイカ、夏からスルメイカを活イカで勝負する「活イカ姿丼」を発表しました。

最後は「北海道新幹線の開業をチャンスととらえ、開発は大変苦労しますが、一緒にがんばりましょう」と参加を促しました。

今後、賛同する飲食店で協議会を立ち上げ、試食を重ねメニューを開発していきます。

食の味力発見 in 中泊町&中泊産海の幸「大盤振る舞い」

振る舞い目当てに長蛇の列

当町と東奥日報社の共催で、7月6日(日)町特産物特売所「ピュア」駐車場で「食の味力発見！ in 中泊町」が行われました。また、「ピュア」1周年記念の関連イベントとして中泊産海の幸「大盤振る舞い」を同時開催しました。

この日は晴天にも恵まれ、青森市や弘前市などから、多く来場者が集まりました。各200人に用意した「のしかの風味が効いた海鮮お好み焼き」



鉄火丼に長蛇の列

と7月からはじまったマグロ漁で獲れた「地元産本マグロの鉄火丼」は、始まる1時間前から長蛇の列となり、即品切れとなりました。

新聞広告でイベントを知り訪れた人が多く、青森市から来場した家族は「マグロ鉄火丼は、もちろん美味しかったが、海鮮お好み焼きの美味しさにびっくりした。遠いところから来たかいがあった」と振る舞いイベントを楽しみました。



海鮮お好み焼きの振る舞い

ライブにいこう！

町小学校芸術鑑賞会

7月15日(火)総合文化センターパルナスで、町小学校芸術鑑賞会が開催されました。

この日は、管内4小学校から全校児童が集まり、歌手のSinon(シノン)さんとサウンド・ベアーズのバンド演奏を鑑賞しました。

第1部は、バンド演奏。青森市や五所川原市在住のメンバーで構成されるサウンド・ベアーズのみなさんによるジャズを中心とした生演奏を楽しみました。



いろいろな楽器を体験

ペットボトルでつくった楽器で演奏



た。

第2部は、下北出身の歌手Sinonさんが歌声を披露。中でも映画やテレビのテーマソングを歌ったときは、児童たちも一緒に大合唱し、盛り上がりました。

第3部は、パーカッション体験。全員がペットボトルでつくった楽器を用意し、バンドに合わせて演奏しました。また、各学校から代表2人が、アフリカの楽器など珍しい楽器の演奏を体験しました。